

責任ある行動規範

RESPONSIBLE BUSINESS CONDUCT

We are ALL responsible



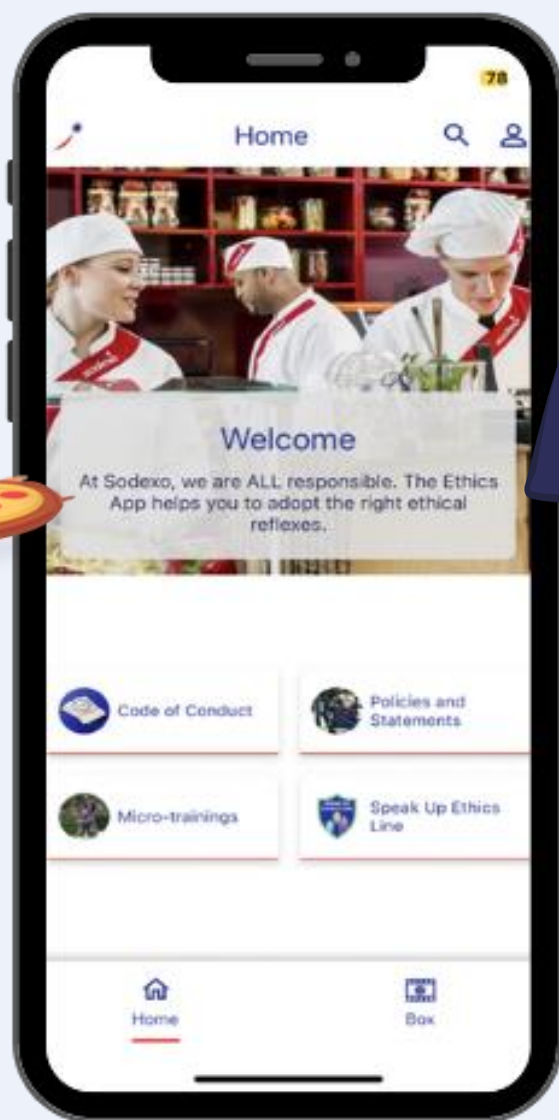
私たち一人ひとりの責任です

ビジネス インテグリティ ガイド

sodexo



ポケットの中の倫理的反射神経！



Apple Store または Play Store で 16 の言語で入手できます。



目次

	常に正しく行動する	2
	すべての人に適用される基準	4
	ソフィ・ベロンより	5
	私たちの価値感	7
	私たちの道徳的原則	7
	公正と誠実の原則	8
	贈収賄や汚職を容認しない	12
	公正で開かれた競争	15
	常に倫理に基いた意思決定	17
	Sodexo資産の利用及び保護	19
	信頼できる財務データ	21
	社員を公平に、かつ尊重して処遇する	23
	プライバシーの尊重及び保護	24
	Sodexoスピークアップ倫理ライン	26



常に正しく行動する

私たち一人ひとりの責任です

私たちSodexoのミッションは、社員やサービスに従事するすべての人と、経済的、社会的、環境的発展に貢献するために私たちが事業を行っているコミュニティや地域及び各国の人々すべての「Quality of Life」の向上です。このミッションを果たすためには、あらゆる面で最高水準の倫理と誠実さをもって事業を展開していかなければなりません。

私たちが業務を行い、このミッションを達成するためには、ビジネスにおける誠実さが不可欠です。現地の法律で定められた基準が、この「ビジネス・インテグリティ・ガイド」で定められた基準よりも高い場合は、常に現地の法律及び慣習を遵守してください。逆に、私たちの「ビジネス・インテグリティ・ガイド」の方が高い基準を設定している場合は、違法行為につながる場合を除いて、このガイドラインを優先して遵守しなくてはなりません。

このように、私たちがビジネスをするうえで「責任ある行動規範（RBC：Responsible Business Conduct）」を遵守することが基本的な柱となります。

本書では、経営層からフロントラインまで、すべての社員が遵守すべき基準を設定しています。

中でも重要な点は、Sodexoが責任ある企業としての評価を維持するため、一人ひとりがその重要な役割を理解することです...それはなぜでしょうか。「私たち一人ひとりの責任」だからです。

私たちはたいへん多岐にわたる業務を運営しており、さまざまな国や文化の中で働いています。しかし本書に記載されている原則は、私たちの全員、業務のすべてに適用されるものです。

私たちは、全員がこれらの原則を理解し、また厳格に遵守し、法令遵守にとどまることなく、常に正しく行動する、つまり倫理的で公正で良き社員であるため、一人ひとりが適切に判断する責任があります。それが私たちが社会に貢献し存在する意義となります。

どこで働いていても、そこで適用される法律はすべて遵守する必要があります。

本書で説明している原則を遵守することに加えて、私たちはSodexoの方針と手続き、及び私たちが事業を行っている国独自の法律と規制を遵守する責任があります。

不明な場合は、法務担当にお問い合わせください。当社の倫理規定、法律、または当社の方針・手続きに関する不正行為または違反が疑われる場合は、報告してください



すべての社員は、当社の「ビジネス・インテグリティ・ステートメント（業務を誠実に行うことの宣言）」を理解して遵守すると同時に、法律またはSodexoの方針に対する違反の疑いがある場合は、迅速に懸念を表明、あるいは報告する責任があります。

このステートメント、またはその他のSodexoの方針に従わない場合は、現地の法律及び適用される労働協約に従い、解雇を含む懲戒処分の対象となる可能性があります。

すべての社員は、法律またはSodexoの方針への違反を発見したら迅速に報告し、違反の疑いがある場合は直ちに懸念を表明、または報告する必要があります。Sodexoは、社員やその他の利害関係者がビジネスインテグリティに関する懸念が表明できるような仕組みを提供しています。すべての報告は誠実に行うことが求められ、報告された情報は最大限の重要性をもって扱われ、極秘扱いとされます。報告をした社員は、あらゆる報復、脅迫、またはハラスメントから守られ、個人情報 は法律の範囲内において可能な限り守秘されます。

本書に関連する事象はしばしば多岐にわたり、簡単に答えや解決策が得られない場合があります。また広く事業を展開するSodexoでは、予期せぬ状況が発生する可能性もあります。私たちは、本書に記載されている基準を説明するガイダンスや、業務においてこの原則を実践するのを手助けする実用的なツールなど、これらのビジネス・インテグリティ基準を達成するためのリソースとサポートを提供しています。さらに、個別の状況におけるステートメント適用について追加のガイダンスが発行されることもありますので留意してください。





すべての人に適用される基準

この基準は、Sodexoのすべての社員及び、Sodexoを代行する立場のすべての人に適用されます

Sodexoの社員、コンサルタント、及びSodexoを代行する立場の人たちは、この基準を遵守する必要があります。コンサルタントまたはその他のSodexoの代行者を管理する人は、彼らがこれらの基準の遵守に同意するよう、手続きを踏まなくてはなりません。すべてのコンサルタントやエージェントは、非倫理的な行動の履歴や評判がないことを保証されるためにデュー・デリジェンスを受ける必要があります。Sodexoの社員は、この基準に反することを他人を介して間接的に行おうとしてはなりません。





ソフィ・ベロンより

“ 「他者からこう扱ってほしい」と自分が希望
することと「同じやり方」で他者に接してく
ださい ”

Sodexoのミッションは「Quality of Life」を向上させ、私たちが事業を行うコミュニティ、地域、国々の経済的、社会的、環境的発展に貢献することです。当社の社員は、サービス精神、チームスピリット、向上心といった長年にわたる価値観、及び日々の業務の指針となる倫理原則にコミットしています。

Sodexoは、社員、顧客、取引先、その他の関係者から信頼される会社であり、これからもずっとそうでなくてはなりません。SodexoのためにSodexoで働く社員は常に尊重されなければなりませんし、Sodexoとの関係と約束をもとに自信を持って誠実であると言えなければなりません。社員一人ひとりが当社のビジネス・インテグリティ基準を遵守する必要がある、これらの基準に違反すると懲戒され、法律にも違反する可能性があることを理解してください。みなさんが業務を行い、正しく行動する上で、本書が一助となることを願っています。



It all starts with the everyday

6



私たちの価値観

これは私たちが真っ先に、例外なく尊重するものです。

Sodexoはその価値観と倫理原則を遵守していきます。



サービス精神

- 取引先とユーザーは私たちのビジネスのコアとなる方々です。
- より良いサービスを提供するため、私たちは要望を受け入れて対応し、期待されていることを予測し、彼らに満足していただけるように全力を尽くします。
- Sodexoはグローバル企業となりましたが、今でも現場主義であることに変わりはありません。マネジャーは「起業家」であり、取引先と親密な関係を維持し、意思決定を行う能力を持てるようにします。

チームスピリット

- チームスピリットは、事業部門、管理部門、及びマネジメントコミッティなど、すべての業務に必要不可欠です。
- 各個人と他のチームメンバーのスキルとノウハウを組み合わせることで、業務の実施を確実なものにします。
- チームワークには次のことが重要です。傾聴、透明性、他者への敬意、多様性、主要な決定を実施するときの団結、ルールの尊重、困難なときの相互支援。

向上心

- 意志と確固たる信念は、現状をいつでも改善できません。
- 私たちのパフォーマンスが評価され、同僚や競合他社と比較されることを前向きに受け入れます。
- 成功と失敗が継続的な改善の基礎となるように自己評価を行います。
- 大望と謙虚さのバランスをもちます。
- すべての問題には解決策とイノベーション、さらに進歩する方法があるとポジティブに考えます。

7

私たちの道徳的原則



LOYALTY

Sodexoが取引先、社員、株主と誠実でオープンな関係を築いていることが忠誠の基盤です。

忠誠は当社における運営上の礎の一つです。

RESPECT FOR PEOPLE

人間性は私たちの事業の中核です。Sodexoは、人種、出身、年齢、性別、信条、宗教、ライフスタイルに関係なく、機会を均等に提供することを約束します。

Quality of Lifeを向上させるということは、すべての人を尊重し、尊厳を認め、配慮することを意味します

TRANSPARENCY

これはSodexoの主要な原則の一つであり、すべての利害関係者（取引先、ユーザー、社員、株主、一般の人々）に対しても変わりはありません

BUSINESS INTEGRITY

私たちは事業を行う世界の中のいかなる場所においても、正直さ、誠実さ、公正性に欠けた行為を絶対に許しません。私たちは、取引先、サプライヤー、及び社員に私たちの立場を明確に伝え、不正な、そして不公平な慣行の拒否を私たちと共有することを望みます。



公正と誠実の原則

私たちはすべての利害関係者と公正でごまかしのない取引をします

Sodexoは、社員、取引先、顧客、パートナー、サプライヤーを含むすべての利害関係者と誠実かつ公正な取引をします。これは、私たちが契約を尊重し、業務上の取り決めと遵守精神を保持するという意味です。また、社員を公正に扱い、適用されるすべての法律を遵守することで、差別を禁止し、社員と顧客を保護することも意味します。



サプライヤーについて

- Sodexoは、ビジネス上最高水準の誠実さをもって業務遂行に取り組んでいます。
- Sodexoは、事業を行う世界中いかなる場所においても、誠実、公正の原則に反するいかなる行動も容認しません。
- Sodexoは、調達プロセスで公平性を確保するよう努めています。その結果、サプライチェーンにおいて倫理を重んじるサプライヤーと提携しています。
- Sodexoは、いかなる不正な競争にも関与せず、いかなる形の贈収賄にも関与しません。
- Sodexoは、サプライヤー、ベンダー、その他第三者とのやり取りの方法に関するガイダンスとトレーニングを社員に提供しています。
- Sodexoは、すべての人が同じ期待を共有していることを保証するために、「サプライヤー行動規範」を提供します。

あなたに要望すること

- 適用されるすべての法律及び規制を遵守すること
- ビジネス上の、合理的な検討事項に基づいて決定すること
- 標準化されたプロセスに従って、サプライヤー、ベンダー、コンサルタントを公正に選択すること
- 全てのサプライヤーが「サプライヤー行動規範」に掲げた当社の倫理基準を遵守していると保証できること
- 財務状況と業務結果を正確かつ迅速に報告すること
- 取引先、顧客、サプライヤー、金融機関と誠実かつ公正に取引すること
- 現実的、及び潜在的な利害衝突を防止すること
- 不適切な贈答品の授受を避けること
- Sodexoの資産を保全すること
- 機密情報、及び独占情報を保護すること
- Sodexoの評判を堅持すること
- 個人的な政治活動をSodexoの事業から切り離すこと
- すべての関連法律と規制、及び倫理規範に対する違反に気付いた際に報告すること

何を考慮すべきか

- **サプライヤーと利益相反がないか?** たとえば、サプライヤーの社長が友人または家族である場合、交渉プロセスに利益相反が生じる可能性があります。
- **サプライヤーから贈り物を受け取ってないか?** サプライヤーがあなたに贈り物や接待を提供したとすれば、みなさんがサプライヤーに譲歩する可能性が高いとみなされ、利益相反に該当します。一部の国では、贈賄罪の意図があるなら私的な商取引であっても、贈り物や接待を提供するのが違法となることもあります。
- **サプライヤーがあなたの家族に夕食やスポーツイベントのような接待を提供していないか?** 直接贈り物や接待を提供せずとも、あなたの家族に提供した場合、利益相反になることがあります。
- **ビジネス以外に、みなさんの意思決定に影響を与える事項はないか?** Sodexoにとって最も利益になることに基づきサプライヤーに関する決定を下さなければなりません。個人的な利益を考慮してはなりません。
- **入札の過程で手順を省いたり、契約に関する法的な手続を忘れなかったか?** サプライヤーと契約するための正式なプロセスが存在する理由は、公正性を確保し、契約で取引を文書化するためです。サプライヤーとの契約手続を省略すると、あなた自身とSodexoがリスクにさらされることとなります。

取引先について



- Sodexoは契約上の約束事項と私たちの業務上の取り決めを守ります。
- Sodexoは社員を公正に扱い、社員と顧客に対する差別を禁止するすべての関連法を遵守します。
- Sodexoは、業務を遂行する上で、すべての利害関係者に対し、最も高い水準の誠実さを維持する責任があります

事例：

Sodexoが現地の会社と提携して石油発掘業者に飲食サービスを提供するプロジェクトが進行中です。取引先の従業員のほとんどが、その国の最大民族グループに属しています。食堂で少数民族グループとトラブルがあり、一時的に飲食サービスに支障をきたす事件が何度ありました。かつて、このような混乱を避けるため合弁会社は少数グループの労働者には食堂を利用させないようにすると聞いたことがあります。私たちは何をすべきでしょうか？

出身民族といったことで利用者や他の人を差別することはSodexoの原則に反します。合弁会社内の適任者が適切なレベルでこの事案を議論するよう、この状況を上司に報告しなくてはなりません。

事例：

リージョンマネジャーとして、新しい協力会社を見つけるほしいという要請を受けました。検討している業務の一つが実施可能な食料品店を所有し、運営している友人がいます。この事業者を将来の協力会社として検討できますか？協力会社として扱うなら、どうすればよいですか？

はい。友人の運営している事業者を将来の協力会社と見なすことができます。ただし、潜在的な利益相反や不適切な取引となるようなことは避ける必要があります。合法的なビジネスニーズに基づいて、Sodexoの他のビジネスの意思決定を下すプロセスと全く同じように決定を下さなくてはなりません。提供される製品やサービスの質が重要で、友情といった個人的な事情を考慮してはいけません。メンバーと協力して、友人の会社を他の会社と同じように徹底的に厳しく調査をした上で推薦してください。

最終的に、この会社を推薦することが決定した場合、「当該会社の経営者はわたしの友人であるが、彼の会社がSodexoの今回の取引に最も適している」と上司に申告し、その合理的な理由を説明しなくてはなりません。組織で意思決定する際には、常に個人的な関係を明らかにし説明することが重要です。そうすれば後々推薦理由に疑問が提起されることもなく、適切に追加の不正防止措置がなされ、あなたに不当な嫌疑が掛かるリスクも抑えられます。

あなたに要望すること

- 常に契約上の義務を遵守し、業務上の取り決めを守る
- 常に合法的な業務の必要性に基づいて業務決定をすること
- Sodexo、または当社の社員に受け入れられないようなビジネスパートナーの行動を容認しないこと
- どんな基準でも他社を差別しないこと
- 常にビジネス上の検討事項と適用される雇用関係法に基づいて人事を決定すること
- 常に関連する衛生規則とSodexo安全ポリシーを遵守すること

事例：

事務用品に関する新しいサプライヤーを探しています。私が最初にコンタクトしたサプライヤーは良好なサービスを提供しますが、高価です。二番目はサービスはあまりよくありませんが、価格が安いです。（その理由は、Sodexoとの取引を獲得するためにかなり割引をしているからです。）最初にコンタクトしたサプライヤーに価格を下げてもらうために、二番目のサプライヤーが提示した価格を開示してもいいでしょうか？二番目のサプライヤーの名前と提示価格を伏せた上で、「他社でより低い価格を提示しているところがある」と伝えるのがベストです。最初のサプライヤーに、競合他社の機密情報を提供しないよう注意しなければなりません。このような行為は反倫理的だと考えられ、多くの国では法令違反とみなされます。サプライヤーがあなたに贈り物と接待を提供した場合、あなたがサプライヤーに譲歩する可能性が高いとみなされ、利益相反になります。一部の国では、贈収賄の判例で私的な商取引でも贈り物や接待を提供することが違法になることがあります。

91

事例：

海外サプライヤーの1社が強制労働の疑いで取り調べを受けていると、ある方から内密に聞きました。サプライヤーからはこの話を全く聞かされておらず、直近のサイト訪問でも懸念するような理由は見当たりませんでした。この話を無視しても良いでしょうか？

絶対に無視してはいけません。Sodexoは倫理上問題のないサプライヤーのみと取引します。適切に調査を行われなければならない、あなたはこの事案の調査にあたって手を貸さなくてはなりません。法的、または他の適切なリソースをもってチーム内で適切なレベルでこの事案を解決するよう、この状況を上司に報告してください。みなさんの懸念が無視されていると思ったら、更に上の段階としてSodexo Speak Upプラットフォームへアクセスしてください。調査の結果、改善の余地があることが確認された場合、サプライヤーに通知し、是正措置計画を実行させます。もちろん、すぐに修正できないと思われる深刻なコンプライアンス違反であった場合、当社の基準に則して取引を解消しなければなりません。



社員について

Sodexoには、社員のQuality of Life のために**10**の基本原則があります。

1. 安全、安心、健康に過ごせる職場
2. 互いに尊重し合う職場人間関係：ハラスメント、嫌がらせ、脅迫または暴力の禁止
3. 的確で安全な業務を遂行するためのトレーニング、ツール、装備
4. 明確なマネジメント：ミッションと目標
5. 職場での基本的権利の尊重
6. 報酬の全額支払い：決まった期日に
7. 適正な労働時間：休日と休憩時間の法令遵守
8. 個人情報の保護
9. 適切で清潔な宿泊施設（提供される場合）
10. 社員の声：報復から守られるスピークアップシステム

- Sodexoは「事故災害ゼロ」を推進しています。どこで何の事業を行おうと、Sodexoは各業務において全ての安全衛生規則、規範、及びポリシーを遵守します。
- Sodexoはすべての人が職場で尊重されることをコミットします。
- Sodexoは、職場での嫌がらせ、ハラスメントまたは暴力行為に対して「決して許容しない」方針です。いかなる行為または脅威は、深刻に受け止め、すぐに調査し、適切に処理されます。必要があればSodexoは、公的機関の介入を促し、関係当局に訴えます。
- 万が一職場において暴力の被害者となり、身体的または精神的外傷を被った場合、Sodexoは回復に向けてサポートします。
- Sodexoはすべての社員に自身の職務内容を書面をもって通知します。マネジャーは全員、明確な目標を持ちます。
- 人権尊重へのSodexoのコミットは、国際人権原則に基づいています。これらの原則は、「ビジネスと人権に関する国連ガイドライン」、「国際人権規約」、「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」、及び「国連グローバル・コンパクト」に規定されています。
- Sodexoは、社員が組合活動の自由と団体交渉権の行使を損なうようなあらゆる形態の報復を禁止し、自身が選択した組合に加入する権利を尊重します。
- Sodexoの社員は、処罰されるかもしれないと脅迫されて働いたり、サービスを提供することはありえません。
- Sodexoは、公認された職業訓練プログラムの一環である見習いやインターシップのケースを除いて、15歳未満は雇用しません。法定最低労働者年齢が16歳以上の国では、Sodexoは現地の法律に従います。
- Sodexoは資格、能力、及び職業経験の基準に基づいて、従業員を採用します。これらの基準は、報酬、労働条件、昇進、異動、及び研修を決定する際にも適用されます。
- Sodexoは、社員雇用に際してはいかなる類の差別を排除し、現地の法律に沿ってダイバーシティとインクルージョンを推進します。
- Sodexoはすべての社員に毎回決まった期日に決められた賃金全額を支払うことを保証します。
- Sodexoは、労働時間が関連法規に準拠し、社員が過度の時間勤務することを要求せず、食事、休憩や休暇のために決められた適切な時間を提供することを保証します。
- Sodexoは、必要な場合にのみ個人情報を収集します。収集された情報は安全に管理します。
- Sodexoが社員に宿泊施設を提供する場合、適切かつ清潔な場所を選択します。
- Sodexo Speak Upプラットフォームを使用することで、安全で機密が保持されている環境で「Sodexoビジネス倫理規範」の遵守に関する懸念を提起することができます。
- 私たちは、調査時には機密保持と推定無罪の原則を尊重し、公正なプロセスを保証します。すべての調査は、現地の法律にも準拠します。

あなたに要望すること

- 常に、判断や業務遂行を損なう可能性のある物事の影響を受けずに働くこと
- 積極的に安全文化を推進し、安全衛生に関する基準とプロセスに従うこと
- 事故、怪我の他、安全でない機器、慣行、または状態をスーパーバイザーまたは適切な担当者に迅速に報告すること
- 自分は他者からこう扱ってほしいと思うのと同様のやり方で、礼儀正しく、品位と敬意を持って他者に接すること
- 身体的、心理的、または言葉による暴力で誰かを脅迫しないこと
- 威嚇的、攻撃的、悪意のある、または無礼な行動をとらないこと
- 必要に応じて適切な個人用保護具を着用し、装備品が損傷している場合は交換を依頼すること
- サービスが安全に提供されることを保証するため、能力と資質に疑問がある場合は自らトレーニングを要請すること
- 文化や信条の違いを認識し、尊重すること
- 職場で基本的権利が損なわれた場合は、スーパーバイザー、人事担当者、または適切な担当者に速やかに報告すること
- 個人情報に関する声明を尊重すること
- 本文書のコミットメントに違反した場合は、スーパーバイザー、人事担当者、または適切な担当者に速やかに報告すること
- 通常のルートでは懸念事項が対応されない場合は、Sodexo Speak Upプラットフォームを介して違反を報告すること

事例：

営業担当者として、私は大都市や地方でよく夜間に運転しますが、時々、安全ではないと感じることがあります。マネジャーに問題を提起しましたが、私の懸念に対応してくれません。このことを社内の誰かと一緒に取り上げるべきですか？

はい、人事担当マネジャーに相談し、不安全を回避するために可能な解決策について話し合う必要があります

私のマネジャーは大変威圧的です。質の高い仕事を提供せよと強く求めていることは分かりますが、時には周囲の人の自尊心を傷つけており、チーム全体の士気に影響を与えています。それに対して私はどうすればよいですか？

Sodexoのマネジャーは、取引先から要求されている質の高い仕事を提供するため、チームに挑戦させ、方向づけることが求められています。チームメンバーの業務遂行について批判やコメントしたりすることもあり得ます。ただし、マネジャーはチームメンバーに対し敬意と品位を持って接することも求められています。もし社員としてあるべき態度で接してもらっていないと感じた場合は、マネジャーに話をしてみてください。もちろん人事担当マネジャーに相談することもできます。

マネジャーから、機器の安全装置を無効にするように指示されました。私はどうすべきですか？

安全管理担当者の適切な事前承認なく、安全装置または監視装置を経由しないようにしたり、切断したり、無効にしないでください。マネジャーが主張を変えない場合は、拒否して上位のマネジャーと人事担当マネジャーに連絡する必要があります。安全は絶対的なコミットメントであり、妥協してはいけません

この大学では、学期の初めに新入生のための大きなイベントが計画されています。多忙を極める中、ユニットマネジャーが別のユニットの監督のため調理場から離れていたところ、ある社員が所定の休憩なしで作業していることに気づきました。これは1回限りのイベントであり、イベントを成功させることが目標ですが、この違反をユニットマネジャーに報告する必要がありますか？

はい。ユニットマネジャーは、このイベントを総合的に成功に導くためには、労働環境の安全衛生も確保しなければならないということを知っています。また、短期的には問題が無いと思われるケースでも、常に安全衛生に関する規則を守るによりSodexoの評判が守られます。自分自身と同僚が安全衛生慣行を遵守していることを常に確認する必要があります。これらのポリシーが守られていないということをユニットマネジャーに知らせることが重要です。



贈収賄や汚職を容認しない

私たちは、贈収賄や汚職は決して行わず、
自らの価値を認めていただきビジネスを勝ち取ります

Sodexoは、サービスの強さと品質でビジネスを勝ち取ります。Sodexo、そしてSodexoを代行する人は、ビジネス上の利益を得るために公務員や民間企業に贈り物や金銭に絡むものを提供することはしません。

Sodexoに関わる決定に影響を与えたり、契約を獲得したり、不適切なビジネス上の利益を得たりするために、公務員、民間企業の顧客、新規営業先といったいずれの関係者に対しても、贈答、接待、不適切な政治献金は行いません。同様に、Sodexoの社員は、取引、有利な価格設定、または不適切なビジネス上の利益と引き換えに、現サプライヤーまたは将来のサプライヤーからの贈り物や接待を受けてはなりません。

すべての場合において、Sodexoの社員は、Sodexoの誠実と公正の基準に従わなくてはなりません。ですから、Sodexoの社員は、不適切な行動と思われるようなことは避けなければなりませんし、適切な行動を危うくしたり、周囲に影響を与えたり、Sodexoに悪影響を及ぼしたりする可能性のある贈答品や接待を受けたり、申し出たり、提供したりしてはいけません。

特定の限定された贈答及び接待は、当社のビジネス・インテグリティ基準の範囲内で許容される場合があります。Sodexoの社員が、贈答品、接待、またはその他金銭に絡むものを民間企業の取引先に申し出、または提供する場合は、その金額がリーズナブルであり、適用されるすべての法律及び地域の商習慣に準拠し、不適切な利益を得るために提供されないと判断される場合に限りです。

限定された贈答及び接待であっても、それが政府や公共機関との取引につながる場合、違法または倫理に反する可能性があります。たとえば、一部の政府には、政府や公共機関に関する職員や公務員が一般の人々から金銭に絡むものを受け入れることを一切禁止する規則があります。これには、旅行やホテルの宿泊、または1回のみのお食事の支払でさえ含まれるケースがあります。また一部の国では、民間事業が政府によって管理されている場合があります。従って、わたしたちは政府や公共機関に関する職員や公務員と取引する際に、特段の注意を払わなくてはなりません。



- Sodexoは、直接的または間接的いずれも、世界のどこであろうとも、いかなる形の汚職行為にも関与しません。
 - いかなる状況においても、Sodexoは不正な贈与をしません。また、ビジネスを勝ち取ろうと、他者に不適切な行動を促したり、有利になる決定に影響を与えるような贈与はしません。
 - Sodexoは利益供与となる贈与はしません。また、私たちのために働いている人たちが、私たちを代理する人たちにもそうした贈与を認めません。
 - Sodexoは、みなさんが賄賂を贈ったり、受け取ったり、何らかの形の汚職に関与したり、容認した場合、懲戒処分を行い、該当する場合は法的措置を取ります。
 - Sodexoは、利用するすべてのコンサルタントとエージェントの信用調査を行います。
 - Sodexoは、合併会社、代理店、請負業者、サプライヤーなどのビジネスパートナーが、汚職、贈収賄、利益供与の禁止に関する方針に従うよう求めます。
- すべての正当な支払いの領収書を証拠として常に取得し、記録すること。
 - Sodexoで、あるいはSodexoのために働いてもらおうとしているコンサルタント、エージェント、またはその他の第三者が、Sodexoに代わって従事しているときに不適切な支払いを行う可能性があるときSodexoが認識している場合、またはあなたがそう考える理由がある場合は、それらエージェントを雇用しないこと。
 - Sodexoが事業を行うすべての国で、汚職/贈収賄禁止法及び条約 - サパンII法、1997年OECD外国公務員贈賄防止条約、米国海外腐敗行為防止法（FCPA）、英国贈収賄法など - を遵守し、協力会社にも遵守を要求すること。



考慮すべきこと

- 承認を求めるときは、内容を説明すること。過去1年間に同一の人物または民間企業に贈った、あるいは受け取った贈答または接待の金額を明記する。
- 提示された贈答または接待は、承認された金額を下回っていても、すべての事実及び状況下で適切であるかどうかを検討すること。疑わしい場合は、贈り物を授受しない。不適切ではないかと思われることは、方針に反することをすると同じくらい重要な危険要素です。
- 現金、または現金と同様に扱われるものは、絶対に授受しないこと。
- 入札または入札プロセスが進行中の間は、それに関わる取引先やサプライヤーとの間で贈答または接待を提供しない、受領しないこと。
- Sodexoに代わって第三者とやり取りするエージェントがいる場合、エージェントを雇用する前に、Sodexoは、発見された「危険信号」に関する懸念を明らかにするために、エージェントの信用情報をさらに調査する必要があります。腐敗防止規定が織り込まれた契約文書に署名してもらう必要があります、Sodexoの責任者が、当社の方針の意味とそれを遵守する必要性について、エージェントと事前に話し合う必要があります。そのような場合はすべて、上司に確認してください。



実例：

あなたは施設管理サービスのリージョンマネージャーです。顧客である小規模で資金難の市立学校で、ちょうど委託事業に関する再入札をしています。校長から、市長の誕生日パーティーを主催するよう要請されました。パーティーを計画し、その支払をしなくてはなりませんか？

いいえ。市長（地方自治体の公人）の誕生日パーティーを主催することは、Sodexoの方針に反し、契約の更新と引き換えにパーティーの代金を支払ったものとして賄賂と見なされる可能性があります。さらに、一部の法律下では、これは政治献金と見なされる可能性があり、報告が必要になります。

あなたは、公務員の福利厚生プログラムを監督する地方自治体の管理者に、「電子スマートカード」プログラムに切り替えるよう説得しようとしています。プログラムの利点を説明しましたが、管理者はテストするために、自身とスタッフメンバーがカードを30日間無料で使用できるよう依頼してきました。また、Sodexoにテスト用としてカードにいくらか金額をチャージするよう求めています。カードをテスト使用することを許可しなければなりませんか？

いいえ、それは公務員に金銭に絡むものを提供することになり、賄賂と見なされる可能性があります。公共調達に関する法律が守られていれば、Sodexoの資金を使わずにカードのテストを手配できる可能性もあります。

あなたに要望すること

- 常に、判断や業務遂行を損なう可能性のある物事の影響を受けないよう働くこと
- ビジネス上の利益を得るため、または影響を与える目的で、贈答、金銭が絡むものを受け取ったり、申し出たり、提供したりしないこと。ビジネス・インテグリティ基準の範囲内での贈答、接待、またはその他金銭に絡むものを申し出たり、提供することはできますが、その場合は金額がリーズナブルなこと、適用される法律及び地域の商習慣に準拠していること、不適切な利益を得るために提供されていないことが条件です。
- 協会社と取引するときは、相手側での潜在的な汚職の兆候に注意すること。以下の事項に注意してください
 - 協会社の地元の評判（新規営業先、顧客、またはビジネスパートナーが公務員であるかどうか注意する。）
 - 契約において各当事者が何をする必要があるかを明確に規定されているか注意する。
 - エージェントまたはコンサルタントと合意した手数料の支払条件：過大な金額や根拠のない前払いに注意する。
 - 提供するサービスの詳細な説明が記載された請求書を求める
 - 料金レベルが同様のサービスに適用されている料金と同水準にあるかどうか

事例：

ある会社で行っている銅鉱山での採掘事業がもし十分に拡大した場合、Sodexoは提供している採掘キャンプ管理サービスで大きな収益機会が見込めます。ただし、この採掘を拡大する前に、地方自治体から環境影響に関するステートメントを入手して満たす必要があります。あなたは地元のコンサルタントからアプローチを受けました。「私はこの地域でどうやっていけば良いか知っており、ステートメント要件を免除することができる」と言っています。彼を使うべきですか？

場合によります。地元のコンサルタントの提案を取り巻く状況は疑わしいものもあるため、危険信号を発しなければなりません。彼が「どうやっていけば良いか知っている」との主張は、要件を免除するための賄賂としてSodexoから受け取る手数料の一部を彼が使用する可能性があることを強く示唆しており、これは危険信号となります。このコンサルタントの評判と信用を徹底的に調査する必要があります。法務チームに連絡して、審査プロセスの支援を求めてください。このコンサルタントに関する調査結果（経歴を含む）が、プロとして高く評価され、任務に正直かつ倫理的な方法で取り組まれていると示しているならば、答えは「はい」である可能性があります（サービスが書面による契約に従って提供され、適切に文書化されている場合）。一方、このコンサルタントが経歴を明らかにせず、スタッフがおらず、単に自分の「人脈」について話しているだけの慣行、または経歴が常にビジネス・インテグリティの慣行に従っているとは限らないことを示している場合は、答えは「いいえ」です。

Sodexoが新規営業している地域で、Sodexoの新契約金額の増加を保証できると言っているコンサルタントがいます。このコンサルタントを使用するにあたり、現金で高額な前払い手数料を支払うことが必要です。どうしたらよいですか？

いいえ。このコンサルティングサービスの現金払いの要求は、Sodexoのポリシーに反するものです。さらに、「保証」という言葉は危険信号です。当局の意思決定者との関係が不適切である可能性が高いことを示唆しているからです。また、事前に多額の料金を請求することも危険信号となります。コンサルタントがSodexoからの手数料の一部を使用して意思決定者に賄賂を贈りたいと考えている可能性があるからです。そして最後に、コンサルタントが活動している地域で汚職の悪評がないかどうかを分析して判断する必要があります。しかしながらSodexoがコンサルタントを使用し、地元のコンタクト先を入手することが適切なケースもあります。コンサルタントとの契約は慎重に検討する必要があり、コンサルタントがSodexoのポリシーと倫理基準を確実に遵守するよう明記した条項が含まれていなければなりません。汚職の過去を持つ人物とは取引しないことを確実にするために、ビジネスを獲得するために利用するコンサルタントは、デューデリジェンスで事前信用調査を行う対象となります。





公正で開かれた競争

私たちは公正に、オープンに、そして合法的に競争します。

世界中の自由な企業間取引は、公正で合法的な競争に基づいています。

Sodexoはグローバルリーダーとして、インテリジェンス、イノベーション、ハードワークを通じてビジネスを収益性の高い方法で運営し成長させ、お客様、取引先及び社員の「Quality of Life」の向上を継続的に追求します。

お客様やサプライヤーにも同様のことを期待し、価格、納期、品質などをもとに客観的に選択、購買決定しています。

当社は市場やお客様の利益を不正に損なうような競合他社との談合には手を貸さず、独自に価格と取引を決定します。当社は、価格操作、不正入札、または市場、地域、取引先の割り当てを競合他社に禁じている不正競争防止法を遵守します。

競合他社の事業を偽って伝えたり、盗難や詐欺的な手段で競合他社の企業秘密や機密情報を取得したり、取得しようとしていたりすることはありません。

あなたに要望すること

- Sodexoは、効率的に、確実に、そして取引先にバリューをもたらす価格でサービスを提供することにより、ビジネスを勝ち取ります。
- Sodexoは、私たち自身と一致する倫理基準でビジネスを行うサプライヤーを見極めるようにしています。
- Sodexoは、すべてのビジネス機会において公正かつ倫理に基づいて競争し、交渉します。
- Sodexoは、関連するパートナー契約について、お客様に対してオープンであり、透明性を確保します。
- Sodexoは契約が締結されると、すべての契約仕様を満たし、適用される契約条件を遵守するためにできる限りのことを行います。
- 常にSodexoブランドの価値で競い合うこと
- 競合他社を不当に貶めたり、Sodexoの製品やサービスに関する内容を偽ったり、盗難、産業スパイ、電子盗聴や贈収賄を通じて競合他社に関する情報を取得（または受け入れ）したり、また適正に取得されていない可能性があると思われる競合他社の情報を使用しないこと
- 価格や条件、市場や地域の分割、取引先や入札の割り当てについて競合他社とは決して話をしないこと
- 業界団体の会合では常に注意すること



実例：

あなたはSodexoのBenefits & Rewards Services（福利厚生・褒賞）事業のマネジャーです。あなたのチームは、新規開拓地域で、国のソーシャルサービス行政向けの新しいスマートカードの売り込みを検討しています。競合他社の幹部との懇親会の中で、この会社が政府や地元の相当数の大病院にSodexoと同様の製品を販売することを検討していると聞かされました。そして、将来Sodexoがスマートカードを病院に販売しないとの条件に同意するならば、この会社は政府に製品を販売することを止めるので、双方が利益を享受できるとの提案を受けました。こうすることで両者がこの市場で成功する可能性があるとし唆しています。どうしますか？

クライアントまたは市場を競合他社と分割することは（または、そのことについて話し合うだけでも）、Sodexoのポリシーに反し、多くの法律に抵触します。Sodexoは、当社のサービスの価値そのもので競います。この会社の提案は倫理に反し、違法であり、間違ったビジネス手法です。明確に、Sodexoには興味がなくこのようにビジネスを行っていないことを言って、丁寧に議論を終了する必要があります。

フードサービス業者の代表者があなたに電話をかけ、自身の会社とSodexoの両方がサービスを提供しているEU加盟国で取引先を分け合わないか、その方法について話し合おうと提案してきました。当該国内で会うと問題になるかもしれないので、EU域外で会いたいとのこと。行くべきですか？

いいえ。私たちは競合他社と市場や取引先を分け合ったり、分割したりしません。それは誤りであり、違法です。また、市場の分割や割り当てについて競合他社と絶対に話をしてはいけません。会議がEU域外であるかどうかは関係ありません。私たちの原則は世界中のどこでも適用されます。会議がどこで開催されるかは関係ありません。

16

あなたは営業担当で、統合施設管理サービスのアウトソーシングを検討している新規開拓先の病院との入札前会議に出席していて、この病院が感染症を懸念していることを知っています。Sodexoの競合他社の一社が運営する取引先で、大腸菌が発生したとの記事を最近読みましたが、競合他社はその発生とは何の関係もないことを知っています。ビジネスを勝ち取るために、このことについて何か言及したほうが良いでしょうか？

いいえ。競合他社が発生とは何の関係もないことを知っているのに、あなたがそれについて言及した場合、あなたは新規開拓先を誤解させ、競合他社を不当に貶めることになります。それはSodexoがビジネスを獲得するやり方ではありません。

競合他社が、共同入札に向けて協力し合い、個別ベースでは入札しないことに同意しないかと話し合いを持ちかけてきました。これに応じられますか？

通常、これは違法です。限られた特別な状況ではいくつかのケースがありますが、法務チームや上司と一緒に個別の状況をよく調査する必要があります。





常に倫理に基づいた 意思決定

私たちは、利益相反のないビジネス上の意思決定を行います。

すべてのビジネス上の意思決定は、客観的に、ビジネスにおいて最適かどうかに基づいて行われなくてはならず、個々の社員の個人的な利益や都合に依ってはけません。つまり、Sodexoの社員は自分自身または他者が、現在あるいは将来利益相反を抱えている可能性があることを認識し、それに対処するための措置を講じる必要があります。

社員がSodexoの決定に影響を与え、その結果、その社員、親戚、または親しい知人に個人的な利益がもたらされる可能性がある場合、その社員は利益相反に直面します。社員は状況を開示しなくてはなりませんが、決定に対する社員の影響を排除するための手順が必要になる場合があります。管理職は、Sodexoの競合他社のために働くべきではありません。また社員は、Sodexoで働いている間、Sodexoに供給、提携、またはサービスを提供するための事業を立ち上げたり、運営しようとしたりしてはなりません。

17

あなたに要望すること

- Sodexoは客観的に、そしてビジネスの利益のために決定を下します。
- Sodexoは、利益相反に関するトレーニングとガイダンスを社員に提供します。



- 業務に関連する社外の事業や投資を含む利益相反、及び近親者の利益相反については、常に上司に報告すること。
- 個人的な興味に基づいてビジネス上の決定を下すことは絶対にしないこと。
- あなたの個人的な興味が、同僚やSodexoの利害関係者にどのように見えるかを常に考慮すること。
- 社外事業関係については、常にSodexoの基準に従うこと。
- 既存または将来のサプライヤーまたはクライアントと外部のビジネス関係を結ぶ前に、上司の承認を得ること。
- 競合他社にスキルやサービスを提供したり、Sodexoと競合する法人の設立や支援の手助けをしないこと。

- Sodexoとの関係において、直接的であれ間接的であれ管理上の責任者として働いている人物がいる組織から雇用を受け入れたり、外部サービスを提供したりしないこと。
- 決して近親者とSodexoのビジネスに責任を負わないこと、あるいは監督と従属の関係で近親者を絶対に雇用しないこと。
- Sodexoと競合他社、あるいはその他の会社との取引関係において責任のある立場にいる場合、それらの会社には絶対に投資しないこと。
- 不適切な贈り物や接待を決して受けないこと。

実例：

Sodexoプロジェクトで追加のケータリング支援を必要としています。あなたの妹にはケータリングの経験があって、すぐに対応できる状況で適任、費用も標準的です。彼女は結婚していて名字が違うので、誰もあなたの近親者だとは思っていません。彼女を雇ってもいいですか？

いいえ。この関係が既に知られているか、そのうちに明らかになるかに関係なく、社員は直接の指揮下に近親者を雇用する（または外部コンサルタントとして監督する）べきではありません。彼女が最適任者だと信じるに足るのであれば、上司とこの件について話し合う必要があります。特定の状況下で、他のSodexoのマネージャーがこの仕事を監督するか、あなたの妹を雇うことを決定して、関係が明確に公けにされるのであれば可能になり得ます。

あなたは大学のカフェテリアのフードサービスマネージャーですが、大学の近隣で学生が頻繁に訪れるレストランの共同所有者になることを検討しています。投資できますか？

いいえ。このレストランは大学のカフェテリアと競合しますから、競合相手に投資してはいけません。たとえば、カフェテリアでの不十分なサービスをあえて見過ごして、レストランで食事をする学生が増えた場合、利益相反が発生する可能性があります。

あなたは、Sodexoがサービスを提供している高齢者施設で財務部門のマネージャーを務めています。あなたの義理の兄が最近、この施設にミルクとバターを納入する乳製品会社を買収しました。あなたは直接的には商品購入の決定を行うことはありませんが、施設の支出をチェックすることで、購入の決定に何らかの影響を与える可能性があります。この事実を上司に開示する必要がありますか？

はい。あなたの義兄がこの乳製品会社を所有していることを上司に開示しなければなりません。近親者とSodexoとの商取引について、決して責任を負わないでください。購入を直接決定しなくても、支出をチェックする責任は相反するプレッシャーを引き起こす可能性があります。たとえば、他のサプライヤーが請求すると思われる金額を超える支払いを見過ごすことになるかもしれません。あなたの義兄が最適なサプライヤーである場合、別のSodexoの社員が彼への支払いのチェックをする責任があります。

リージョンマネージャーとして、SodexoのBenefits & Rewards（福利厚生&褒賞）サービスプログラムの1つに地元の関連会社を選択するように求められました。候補先の一つに、あなたが25%出資しているドライクリーニングサービス業者があります。

サプライヤーまたは業者を選択するときは、個人的な利益に依らず、ビジネス上検討すべき事項に厳密に基づいて決定を下さなければなりません。Sodexoは、その地域で数を限定してドライクリーニング業者と提携したいと考えているかもしれません。その場合、あなたが投資している会社は他の会社と競合することになります。たとえSodexoがその地域にあるすべてのドライクリーニング業者に提携を申し出たとしても、契約条件に関してアームズレングスルールに基づいて（互いに独立性を保って）交渉する必要があります。これらの理由で、ドライクリーニング業者への出資は明確な利益相反を引き起こします。上司に利益相反を報告し、出資している会社の評価と交渉だけでなく、その他すべての業者（ここではドライクリーニング業者）の評価と交渉のプロセスから自分自身が関わらないようにしなければなりません。





Sodexo資産の利用及び保護

私たちの社員は、専有している情報及びその他無形資産を含むSodexoの資産を保護し利用しますが、これはSodexoの利益のためのものです。個人的な利益のためにSodexoの所有資産またはインサイダー情報を使用してはなりません

Sodexoの社員は、Sodexoのビジネス上の利益を拡大するために、プロとして誠実に働かなくてはなりません。社員は、専有しているビジネス上の情報、及びその他無形資産を含むSodexo資産を適切に、管理者の承認の下で使用しなくてはならず、Sodexo資産を悪用または浪費してはなりません。すべての社員は、Sodexoを退職した後であっても、Sodexo、取引先、サプライヤー、及び社員に関する機密情報を保護する義務があります。同様に、Sodexoの所有資産や情報を個人的な利益のため、または親戚、友人、知人の利益のために使用してはなりません。社員は、自身がSodexoの株式を売買したり、第三者の売買のために非公開情報などのインサイダー情報を使用してはなりません。例えば、財務状況、合併や買収、大型契約締結、または事業戦略に関する情報がそれにあたります。

19



- Sodexoは、個人取引にインサイダー情報を使用することを禁じています。それは違法であり、Sodexoは誰かを問わずそうした行為をする人を告訴します。
- Sodexoは、個人情報と、クライアント、サプライヤー、パートナーの機密情報を保護します。
- Sodexoは、インサイダー取引とはどういうものであるか、また機密情報や会社の資産をどのように保護するかについて社員にトレーニングとガイダンスを提供します。



あなたに要望すること

- 仕事を通じて得られた機密情報またはインサイダー情報を個人的な利益のために絶対に使用しないこと。
- 絶対にインサイダー情報に基づいて株式を売買したり、家族を含むSodexo以外の人にインサイダー情報を開示しないこと。
- ある会社に関するインサイダー情報を知っている場合は、その会社（Sodexoを含む）の株式を絶対に売買しないこと。
- 機密情報を保護するためのSodexoの規則に常に従うこと。
- 機密保持契約または情報非開示契約が承認、締結されている場合にのみ、契約の範囲内で機密情報（非公開の財務情報は除く）を他の組織と共有すること。
- Sodexoの情報を保護するのと同じくらい慎重に、他者から私たちに委託された機密情報を常に保護すること。
- 上司の承認なしに、Sodexoのテクノロジー、通信、機器、または設備を個人的な目的で決して使用しないこと。
- 個人の目的で取引先の資産を絶対に使用しないこと。
- 絶対にSodexoの正当なビジネス目的以外で、Sodexoの資金を使ったり、コミットメントを負わないこと。
- 営業秘密や営業時間を含め、Sodexoの無形資産を常に保護すること。
- 職場での勤務時間をSodexoのビジネスに常に使用し、個人的な活動に不当に使用しないこと。
- 自身の仕事を通して入手したビジネスチャンスを個人のためには絶対に利用しないこと。
- 研究・開発・戦略、コスト、価格、売上、利益、市場、顧客、ビジネスの方法などの機密情報を開示することにより、Sodexoの知的財産またはブランドを絶対に侵害させないこと。

事例：

あなたは大学で統合施設管理サービス事業に携わっているSodexoの社員です。ある週末に芝刈り機を借りて、庭が手に負えなくなった隣人の高齢者を助けてあげたいと考えました。大学は休暇期間中なので、芝刈り機の借用には気がつかず絶対に知られることはありません。大丈夫でしょうか？

いいえ。芝刈り機の使用が大学での業務に悪影響を与えることはないとは思われますが、芝刈り機が摩耗し賠償責任と保険の問題が発生します。Sodexoの社員は、取引先の資産を個人の目的で使用してはなりません。

あなたは、他の会社との提携を構築することがSodexoの成長と発展にとって重要であることを認識しています。ある会社との関係をさらに強化するために、その社長をエリア会議に招待しようと思っています。会議では、通常非公開である累積財務状況について話し合います。社長を前にして、財務状況の話ができますか？

いいえ。非公開の財務情報は、特別な関係を築いた人であっても、Sodexo以外の人と共有してはいけません。Sodexo内であっても、知る必要のない人と機密情報を共有してはいけません。

家族の集まりで、叔父が地域の農業系複合企業の株式購入を検討していると聞きました。あなたは、Sodexoがその企業のサービスに不満を持っており、数ヶ月で期限を迎える契約をほぼ間違いなく終了することを知っています。叔父にこの情報を伝えてもいいでしょうか？

いいえ。困難とは思いますが、機密のインサイダー情報に基づいて叔父に助言することはできません。投資についてコメントをするべきではありません。アドバイスを求められた場合は、「この企業はSodexoと取引があって、ビジネスインテグリティの原則があるので、コメントすることは適切ではない」と伝える必要があります。



信頼できる財務データ

私たちは正確で信頼に足るビジネス上の記録を整え、
偽りのない公正な財務諸表を提供します

- すべての社員は、正確で適正な帳簿、会計、その他の記録を整えておく必要があります。そうした記録は、Sodexoの財務状況、業務実績、取引内容、資産及び負債について、偽りなく公正な視点から提供できるものでなくてはなりません。ビジネス上の記録は、Sodexo独自の内部統制及び会計手順に従って維持されるものです。社員は、いかなる理由があろうとも、いつにおいてもSodexoの帳簿や記録に虚偽または人為的な記載をしてはなりません。
- Sodexoは、地域で適用されるマネーロンダリング防止法を遵守し、違法な資金の隠蔽を防止及び検出するための適切な措置を講じます。
- Sodexoの社員は、グループの財務諸表の正確性を損なうようなことをしたり、グループの帳簿や記録に関して外部または内部の監査人を強要、操作、または誤解させたりしてはなりません。

21



あなたに要望すること

- Sodexoは、財務情報を正確に、誠実に、かつ透明性をもって報告及び記録します。
- Sodexoには、すべての財務記録が正しく、また商業上、法律上、かつ規制上の諸要件を満たしていることを保証する監督制度が備わっています。
- Sodexoは、財務記録の維持と記録を担当する社員にトレーニングとガイダンスを提供します。
- Sodexoのポリシーと関連する会計基準に従って、常に正確に取引を記録し、財務記録を整えておくこと。
- 入力や財務プロセスの正確性に確信が持てない場合、または虚偽や誤解を招く入力、データ、報告書作成を求められていると思われる場合は、常にマネージャーに伝えること。
- Sodexoの記録の正確性を侵害したり、傷つけたりするよう、絶対に他者をそそのかしたり、強要したりしないこと。
- 財務関連であろうがなかろうが、報告書、記録、または立替経費の請求に関して、故意に虚偽または誤解を招くような入力は絶対にしないこと。
- 取引が適正に承認され、文書化されていることを常に確認すること。
- Sodexoの帳簿及び記録に記載される以外の目的で、決して支払い（またはSodexo資産の処分）をしないこと。
- 内部や外部の報告がSodexoの基準に準拠していることを保証するために、みなさんの責任の範囲内で、適切な内部統制が実施されているか常に確認すること。
- 常に内部及び外部の監査に協力すること。

・取引が適正に承認され、文書化されていることを常に確認してください。

・Sodexoの帳簿及び記録に記載される以外の目的で、決して支払い（またはSodexo資産の処分）を行ってはいけません。

適正に承認及び文書化されていない支払いを行ってはなりません。これは、承認または記録されたのとは異なる目的で決して支払いを行わないことも意味します。

・内部及び外部の報告がSodexoの基準に準拠していることを保証するために、みなさんの責任の範囲内で、適切な内部統制が実施されていることを常に確認してください。

Sodexoは、内部統制システムを導入しています。これにより、取引や資産の利用が適正に承認されていること、取引が会計及び財務方針に従って記録されていること、資産に対する説明責任が果たされていること、また適切な間隔において帳簿上の資産と実際の資産とが比較対照されていることが保証されます。決してSodexoの内部統制を回避してはいけません。回避することはポリシー違反であり、深刻な法的影響をもたらします。

・常に、内部及び外部の監査人に協力してください。



実例：

22

あなたは統合施設管理アカウントのユニットマネージャーです。取引先の代表者があなたのところに来て、経費支出実績が来月に終了する会計年度の予算を下回っていると言いました。そして、支出が予算に沿った形となるよう、いくつかの費用を一時的に今期に計上するよう依頼してきました。次年度に相殺するというものです。ほんの一時的なもので、取引先に喜ばれることになるので、これを行っても大丈夫ですか？

いいえ。たとえ一時的なものであれ、どんな記録であっても絶対に誤った入力をしてはいけません。Sodexoの財務記録を虚偽表示しないのと同様、取引先の財務結果に虚偽表示をする手助けをしてはなりません。

同じ基準が、品質、安全、人事記録などの非財務データにも適用されます。Sodexoの記録に入力する場合は、常に妥当性のある根拠を持つ必要があります。また、財務記録にそのような入力をしないのと同じように、非財務記録にも誤った、または誤解を招くような入力を絶対にしないでください。

あなたはビジネスユニットの財務報告の責任者です。移転費用が当期に発生しましたが、あなたはこの費用を認識していなかったため、予算に計上してませんでした。費用は1回限りのもので比較的少額であるため、次年度で計上するよう求められました。どうしますか？

移転費用を繰り延べることは倫理に反し、方針に違反します。会計基準では、報告は正確でタイムリーであることが求められています。1回限りであるかどうかは関係ありません。費用はすべて、発生した期間内に認識されなければなりません。

財務報告の正確性に責任を持つ者は、内部及び外部の報告がポリシーに準拠していることを保証するため、適切な内部統制が実施されていることを確認する特別な責任があります。そのため、Sodexoはシニアマネージャー向けの行動規範を採用しています。

あなたは最近、地区マネージャーに昇進しました。地区マネージャーとして、頻繁に出張し、関連する経費が発生することになります。経費処理用の口座番号が割り当てられる前に、新しく担当する先で出張が入りました。現在担当しているサイトで利益が出て予算をクリアしているため、今回の出張経費を現在担当しているアカウントに付け替えることにしました。これは可能でしょうか？

不正確または誤った報告はSodexoの財務諸表に影響を及ぼし、意図的な財務上の虚偽表示は不正であるため、この方法で経費を計上することは倫理に反します。



社員を公平に、かつ尊重して処遇する

私たちはすべての社員を公平に、かつ尊重して処遇し、ハラスメントや差別のない安心できる職場を提供します。

人権尊重宣言に沿って、私たちのビジネス・インテグリティへのコミットメントには、社員を誠実、公正、敬意、品位をもって処遇することが含まれます。

Sodexoは安全で健全な職場環境を提供します。労働条件は、少なくとも適用される法律及び規制に準拠し、Sodexoの職場の安全衛生プログラムの対象となります。

私たちは、すべての社員がお互いに礼儀正しく敬意を持って接することを要望しています。職場での暴力や、言葉、感情、心理的、性的、肉体的、またはその他の形態のハラスメント、虐待、脅迫、いじめは許しません。社員に対して、人種、肌の色、出身国、性別、性同一性、性的指向、宗教または障害、またはその他適用される法律や規制で禁止されている根拠に基づいて、雇用、昇進、給与、業績評価、またはその他の労働条件に関する差別を禁止します。年季奉公、奴隷制、拘束、その他の強制された自発的でない労働は認めません。15歳未満の人、あるいは15歳以上であっても国または地域の法定雇用年齢を下回る人は、Sodexoで働くことが許可されていません。未成年者を危険な仕事をさせるために雇用しません。未成年者の雇用には、労働時間、賃金、労働条件、最低限の教育に関する法的制限が適用されます。

私たちは、社員が労働組合の代表となるかどうかを決定する権利、団体交渉を行う権利を尊重します。組合への加入、支持、反対を理由に、社員または社員代表を差別したり報復したりすることはありません。

私たちは、社員が勤務したすべての時間に対して、適時かつ定期的に法律を遵守した賃金と手当を支払います。私たちのチームは、労働時間の上限や休憩時間の要件など、社員の労働時間に適用されるすべての法律及び規制を遵守します。残業は、職種に応じて法律で許可されている場合において要求されることがあります。





プライバシーの尊重及び保護

私たちは、すべてのステークホルダーのプライバシーと機密情報を尊重し、保護します

- Sodexoは、社員、取引先、受益者、消費者、ビジネスパートナーを含むすべての利害関係者の個人情報の機密性を尊重することを約束します。
- 私たちは、関連するすべてのプライバシー及びデータ保護法の遵守を保証することを目的としたポリシーとプロセスを維持します。
- 私たちは、求職者、社員、取引先、消費者、ビジネス上接点がある先、株主、及びその他の第三者の個人情報のプライバシーと機密性を守ります。そのような情報を社内外を問わず、ビジネス上必要とする人と、それが法的に許可されている人以外には開示しません。



24

- Sodexoは、欧州の法的データ保護フレームワーク、適用されるプライバシー、データ保護、データセキュリティに関する法律及びSodexoグループの情報セキュリティポリシーに従って定められた、Sodexoデータ保護の企業ルール、ポリシー、手順、及び行動規範を遵守し、そして、遵守されているか監視します。
- Sodexoは、合法性、公平性、透明性を保証します。
- Sodexoは、既知で、関連性があり、法的に根拠のある目的でのみ個人データを処理します。
- Sodexoは、処理する個人データが適切で関連性があり、収集し処理する当初の目的に必要とされたものに限ることを保証します。
- グループ内でのデータ移動を容易にするために、Sodexoには、ヨーロッパの子会社から別のグループ子会社へのデータ移動を管理する一連の「拘束力のある企業ルール」があり
- Sodexoは、個人データを正確に処理した上で保管し、必要に応じてアップデートします。
- Sodexoは、必要な期間のみ個人データを保管します。
- Sodexoは、社内外を問わず、当社に代わって行動する協力会社が、技術的及び組織的に適切なセキュリティ対策を採用することを保証します。
- Sodexoは、個人データの侵害があった場合、関係する監督当局、及び影響を受ける個人に報告します。
- Sodexoは、データ処理の目的を達成することが厳密に見て必要であり、そうすることに法的根拠がある場合にのみ、個人の機微情報を処理します。
- Sodexoは、処理内容についてデータ処理記録を保管します。
- Sodexoは、個人データに関して当人からどんな相談でも受け付けます。
- Sodexoは、個人データの自動処理のみに基づいて、個人に重大な影響を与える可能性のある個人に関する評価や決定を行いません。特定の限られたケースで適切なセーフガードが備わっているケースはこの限りではありません。
- Sodexoは、欧州の法的データ保護フレームワーク、及びその他の該当する地域のデータ保護法に準拠して、個人データを収集及び処理する前に必要に応じて包括的な情報通知並びにデータ保護ポリシーを個人に提供します。
- Sodexoは、個人データ転送の適切な保護を確保せずに、EU/EEA域外の第三者に個人データを転送することはありません。



- Sodexoは、グローバルデータ保護アセスメントに従って、個人データ処理を必要とする新しいデジタル関連プロジェクトや新規ビジネスチャンスに際してプライバシーを確保しています。また、個人データを扱い、処理する担当者をトレーニングすることでプライバシーを確保しています。個人データの取り扱うすべての社員にトレーニングを施し、技術的及び組織的に適切な措置を講じます。
- Sodexoは、必要に応じてデータ保護アセスメントを実施します。
- Sodexoは、個人データへ継続的または定期的アクセスし、個人データの収集や個人データの処理に使用されるツールの開発に関わっている社員に対し、適切なトレーニング実施します。

あなたに要望すること

- 収集する個人データの対象者に、収集する情報の種類、その使用方法、及び質問がある場合の連絡方法を必ず知らせること。
- 必要な個人データのみを収集すること。このデータは、公正に、また特定、明確かつ正当な目的で使用されなければならず、データが処理される目的に必要とされる期間のみ保存されなければなりません。本人の同意なしに、または法律で義務付けられている場合以外に、「機微」情報（特に健康状態、出身民族、性的指向、政治信条、宗教に関連する情報）を収集しないこと。
- 不正確または不完全なデータは破棄または修正すること。
- 個人データが安全に保管されているのを確認すること。
- 厳に「知る必要」がある場合に、権限ある人へのみ個人データを提供すること。
- 個人データの収集または使用を委任した第三者がこれらの原則を遵守しているのを確認すること。

事例：

あなたは人事部門で働いており、マーケティングチームの同僚が人事データベースへのアクセスを求めてきました。アクセスを許可するべきですか？

いいえ。合理的な理由があってアクセスが正当なものであれば可能です。

お気に入りのフランス料理アプリで新しいレシピを紹介するニュースレターを受信したいと考えています。メールアドレスに加えて、生年月日と食事の好みを入力するように求められました。アプリ会社はデータ保護の原則を遵守する必要がありますか？

はい。すべて個人データと見なされるメールアドレスとその他の情報を求めているため、アプリ会社は適用されるデータ保護法を遵守しなければなりません。一方の問題として、ニュースレターを送信するために、生年月日と食事の好みを収集する必要は無いという側面もあります。

ITプロバイダーと個人データを共有していますが、プロバイダーがデータ保護のために適切なセキュリティ及び機密保持対策を導入しているかわかりません。両方で書面による合意を結ぶ必要がありますか？

はい。第三者プロバイダーが個人データ規制を遵守していることを保証するために、書面による合意が締結されなければなりません。

スミス氏は、英国、ドイツ、ポーランドでフィットネス・トラッキング用の新しいモバイルアプリをリリースしたいと考えていますが、収集されたデータがどのように使用されるかについて、英国、ドイツ、ポーランドのユーザーに通知しないことにしました。誰もその通知を読まないと考えたからです。スミス氏は、データがどのように使用されるかをユーザーに通知する必要がありますか？

はい。消費者は、収集された個人情報、その使用方法、権利内容、及びその権利を行使する方法について知る権利があります。





Sodexoスピークアップ (声を上げる)倫理ライン

www.speakup.sodexo.com

Sodexoの社員及びパートナーは、Sodexoスピークアップ倫理ラインを使用して、当社の「責任ある行動規範（RBC）」に反する、または法律に違反する活動や行動に関して内密に報告できます。すべての報告は、当社グループによって慎重に検討されます。

誰が報告できますか？

Sodexoのため、あるいはSodexoの代わりに働いているすべての人が報告できます。また、当社と何らかの取引関係にある、または過去取引関係にあった当事者（ビジネスパートナー、サプライヤー、株主、エージェント、納入業者、販売会社、消費者など）が、不正行為の可能性について懸念を提起することもできます。

報告する方法は？

基本的には、まず最初にラインのマネージャーに懸念を伝えることです。また、人事担当者、内部監査人、または顧問弁護士と懸念事項について話し合うこともできます。

不正行為が疑われ、利用可能な報告ラインでは問題に対処できないと確信している場合は、外部の「Sodexoスピークアップサービス」が利用できます。内密に、あなたの話す言語で懸念を表明することが可能です。スピークアップは独立した第三者によって運営されており、24時間年中無休で利用できます。

守秘義務と報復の禁止

「スピークアップ」する人はどなたも保護されます。不正行為の疑いについて誠意を持って懸念を表明しても、被害を受けることはありませんので安心してください。いかなる形であれ脅迫や報復は見過ごしません。報復は懲戒処分の対象です。

あなたは匿名で自身の懸念を伝えることができます（あなたの国の法律で許可されている場合）。ただし、匿名で作成された報告を調査することは困難であり、場合によっては不可能でさえあるため、身元を明らかにすることをお勧めします。

報告が（オンラインまたは電話で）完了すると、「アクセス番号」と呼ばれる個別コードが届きます。この番号を使用して、SodexoスピークアップWebサイトにコールバックまたはアクセスして、報告の取扱状況が確認できます。

検討と調査

Sodexoが受信したすべての報告書は、案件管理システムに記録されます。報告書の性質、緊急性、及び潜在的な影響に応じて、案件は適任となるケースマネージャーによって処理されます。

報告は、特に当事者がだれであれ適切な措置が講じられるよう、3か月から6か月の間でリーズナブルな期間内に処理されます。

あなたの懸念、またはあなたに対して提起された懸念が適切に処理されていないと思われる場合、または調査が正しく行われていないと思われる場合は、グループ倫理担当者にご連絡ください。

Sodexoグループ倫理部

255 quai de la Bataille de Stalingrad 92866 Issy-les-Moulineaux Cedex 9 – France

Ethics.Group@sodexo.com

27

詳しくはこちら

- Speak Up Ethics line guide
- Speak Up Ethics line Data Protection statement



Contact

Sodexoグループ倫理部
255 quai de la Bataille de Stalingrad
92866 Issy-les-Moulineaux Cedex 9 - フランス
Tel : +33 (0) 1 57 75 84 68 - Fax : +33 (0) 1 57 75 84 68
www.sodexo.com